



## NEWS RELEASE

2019.6.11

### 「カップヌードル」は「バイオマス ECO カップ」で業界初のバイオマス度 80%以上を実現 ～2019 年から順次切り替え、2021 年全量切り替え完了～

日清食品株式会社（社長：安藤 徳隆）は、「カップヌードル」ブランドの商品で使用する容器に、プラスチック使用量と焼却時の CO<sub>2</sub> 排出量を削減した「バイオマス ECO カップ」を採用します。切り替えは 2019 年 12 月から順次開始し、2021 年度中には全量の切り替えが完了する予定です。



## CUP NOODLES EARTH FOOD CHALLENGE

地球のために。未来のために。

日清食品は、インスタントラーメンのパイオニアとして、おいしさを支える“品質”や商品の“安全・安心”、さらには“環境”や“未来”を追い求めてきました。

1971 年に世界初のカップ麺として誕生した「カップヌードル」は、断熱性、保温性に優れた発泡スチロール（発泡ポリスチレン）製の容器を採用しました。2008 年には、石油のような限りある資源をできるだけ削減し、再生可能資源である紙を使用した「ECO カップ」に変更しました。

そして今回、CO<sub>2</sub> 問題への取り組みを強化すべく、「ECO カップ」をさらに進化させた環境配慮型容器「バイオマス ECO カップ」に切り替えます。この「バイオマス ECO カップ」は、従来の「ECO カップ」が持つ断熱性や保香性を維持しながら、容器に使用している石化由来のプラスチックを植物由来のバイオマスプラスチックに一部置き換えることで、バイオマス度を 81%に引き上げた容器です。また、従来の「ECO カップ」に比べて 1 カップあたりの石化由来プラスチック使用量をほぼ半減、焼却時に排出される CO<sub>2</sub> 量を約 16%削減しています。

「バイオマス ECO カップ」への移行は 2019 年末から開始し、「カップヌードル」が発売 50 周年を迎える 2021 年度中を目途に、すべての「カップヌードル」の容器を「バイオマス ECO カップ」へと切り替える予定です。「カップヌードル」は、これからも時代の変化に対応し、“地球のために。未来のために。”常に進化し続けていきます。